



佐原小学校にて出前講座を行いました！



模型実験で発生した土石流を間近で見ると驚く生徒のみなさん



地域の方々も参加し土砂災害について一緒に学習しました。

10月31日(水)福島市立佐原小学校において出前講座"砂防公開学習会"を実施しました。

当日はまず「土石流模型実験」を行い、土砂災害発生メカニズムや砂防えん堤の設置効果について実際に見て頂いたあと、「砂防施設の果たす役割について」「土砂災害について」「川の働きについて」などの講話を通じ砂防事業の効果や必要性などについて生徒・地域の皆さんと一緒に学習しました。



荒川遊砂地第3床固工 今年度分の工事が完了しました。



下流側から見た様子



平成19年度に施工した範囲

荒川

平成19年度は、右岸側27m 左岸側72mを施工しました。



荒川遊砂地第3床固工は大暗渠砂防えん堤の350m上流に整備される堤長185mのコンクリート構造物です。荒川は堆積した土砂の影響などで、川岸が侵食されたりする為危険な状況にあります。床固工の設置により、川底の傾斜をゆるやかに安定させ、洪水が氾濫するのを防ぎます。

右岸側から見た様子



荒川



荒川砂防探検隊

白津川(しらつがわ)第2砂防えん堤



主ダム

副ダム

隊員「隊長～副ダムの役割ってあるんですか？」
隊長「副ダムは主ダムから勢いよく落ちてくる水の力によって川底が洗掘されるのを防止するために、副ダムで水を貯め水のクッションをつくることで衝撃を吸収する働きがあるんだ。」



荒川砂防探検隊とは？



荒川・須川流域の人目につきにくい山奥や渓流上流部に数多く点在する砂防施設の存在と役割を人々に広く知ってもらおうべく、現地レポートを活動を通じ砂防施設に光を当てる事を最大の任務として結成された隊である！

白津川第2砂防えん堤は須川の支川である白津川に設置されている砂防えん堤の1つです。フルーツラインより福島微温湯線に入り狭い砂利道を進むと約20分で到着(^-^)
白津川の水面が太陽の光を受け、エメラルドグリーンのような色に見え大変綺麗です。

〒960-2156

福島県福島市荒井字地蔵原甲2-14

国土交通省 福島河川国道事務所 荒川砂防出張所

「フロムあらかわ」編集係

024(593)-0831(代表)

ご意見・ご感想、砂防に関する問い合わせ等はこちらまで！



今年も残す所あとわずかとなりました！

ここ1ヶ月間で寒さが一段と厳しくなったように思えます。これから本格的な冬を迎えるにあたって現場での安全管理を徹底し工事を進めていきたいと思っております。ご理解とご協力よろしくお願い致します。m(_)_m

平成19年12月25日作成